

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 11 月 12 日 (2009.11.12)

【公開番号】特開 2008-92436 (P2008-92436A)

【公開日】平成 20 年 4 月 17 日 (2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報 2008-015

【出願番号】特願 2006-273028 (P2006-273028)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

G 0 9 G 5/377 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/93 Z

G 0 9 G 5/36 5 2 0 M

G 0 9 G 5/00 5 1 0 M

G 0 9 G 5/00 5 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 29 日 (2009.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像光学系から入射された光学像を光電変換する撮像手段と、
画像を表示可能な表示手段と、
複数のレイヤを使用して前記表示手段への表示を行うように制御し、前記撮像手段によ
る撮像で得られる情報を少なくとも含む撮像情報に基づいて前記複数のレイヤのうち少な
くとも 1 つのレイヤの表示内容を設定する表示制御手段と、
 を備えることを特徴とする撮像記録装置。

【請求項 2】

前記所定レイヤの表示内容の設定とは、前記所定レイヤの色表示設定であることを特徴とする請求項 1 記載の撮像記録装置。

【請求項 3】

前記所定レイヤの表示内容の設定とは、前記所定レイヤに表示する画像の設定であることを特徴とする請求項 1 記載の撮像記録装置。

【請求項 4】

撮像光学系から入射された光学像を光電変換する撮像手段と、
 画像が記録される画像記録手段と、
画像を表示可能な表示手段と、
複数のレイヤを使用して前記表示手段への表示を行うように制御し、前記画像記録手段
に記録された画像のうち、前記撮像手段による撮像で得られる情報を少なくとも含む撮像

情報に基づいた画像を前記複数のレイヤのうちの所定レイヤを使用して表示するように制御する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする撮像記録装置。

【請求項 5】

前記撮像情報と前記画像記録手段に記録された画像を関連付けるテーブル手段を備え、前記表示制御手段は、前記撮像情報と前記テーブル手段に基づいて前記画像記録手段に記録された画像を前記表示手段の所定レイヤに表示することを特徴とする請求項 4 記載の撮像記録装置。

【請求項 6】

前記所定レイヤとは、背景を表示する背景レイヤであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の撮像記録装置。

【請求項 7】

少なくとも撮影モードと非撮影モードとのいずれかで動作可能な撮像記録装置であって、

撮像光学系から入射された光学像を光電変換する撮像手段と、
画像を表示可能な表示手段と、

前記非撮影モードにおいて、前記撮像手段による撮像で得られる情報を少なくとも含む撮像情報に基づいて決定される表示内容での表示を行うように前記表示手段を制御する表示制御手段と

を備えることを特徴とする撮像記録装置。

【請求項 8】

前記決定される表示内容は、色または画像の少なくとも何れかであることを特徴とする請求項 7 記載の撮像記録装置。

【請求項 9】

前記撮像情報とは、被写体の輝度情報であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項に記載の撮像記録装置。

【請求項 10】

前記撮像情報とは、被写体の色温度情報であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載の撮像記録装置。

【請求項 11】

さらに測距手段を備え、

前記撮像情報とは、前記測距手段から得られる被写体の距離情報であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか 1 項に記載の撮像記録装置。

【請求項 12】

さらに手ぶれ検出手段を備え、

前記撮像情報とは、前記手ぶれ検出手段からの手ぶれ情報であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 のいずれか 1 項に記載の撮像記録装置。

【請求項 13】

動作モードが非撮影モードのときに、前記撮像手段を用いて撮像情報の取得を行うことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 12 のいずれか 1 項に記載の撮像記録装置。

【請求項 14】

前記撮像情報の取得が完了した後は、前記撮像手段の電源を落とすことを特徴とする請求項 13 に記載の撮像記録装置。

【請求項 15】

前記撮像情報取得のために前記撮像手段を用いる場合は、前記撮像光学系のズームレンズを広角端近傍に移動し、前記撮像情報取得が終了次第、元に戻すズーム制御手段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 14 のいずれか 1 項に記載の撮像記録装置。

【請求項 16】

前記撮像情報取得のために前記撮像手段を用いる場合は、前記撮像光学系のフォーカスレンズを過焦点距離近傍に固定するフォーカス制御手段を備えることを特徴とする請求項

1 乃至請求項 1 5 のいずれか 1 項に記載の撮像記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記目的を達成するために、請求項 1 記載の撮像記録装置は、撮像光学系から入射された光学像を光電変換する撮像手段と、画像を表示可能な表示手段と、複数のレイヤを使用して前記表示手段への表示を行うように制御し、前記撮像手段による撮像で得られる情報を少なくとも含む撮像情報に基づいて前記複数のレイヤのうち少なくとも 1 つのレイヤの表示内容を設定する表示制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 4 記載の撮像記録装置は、撮像光学系から入射された光学像を光電変換する撮像手段と、画像が記録される画像記録手段と、画像を表示可能な表示手段と、複数のレイヤを使用して前記表示手段への表示を行うように制御し、前記画像記録手段に記録された画像のうち、前記撮像手段による撮像で得られる情報を少なくとも含む撮像情報に基づいた画像を前記複数のレイヤのうちの所定レイヤを使用して表示するように制御する表示制御手段と、を備えることを特徴とする。